

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社DBJ総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	高級レストラン （経営者）	来客数の動き	・6月以降徐々に来客数や予約が増えており、9月の大型連休もあったことから売上は前年並みに上がっている。
	◎	都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・今月に関しては、8月と同じくらいの宿泊売上、収入があった。8月は1年のうち最も動きと収入のある月だが、それに匹敵する収入である。なかでも、9月の大型連休やアイドル系コンサート等のイベント開催で、県外からの客の動きが非常に多かった。客室単価も8月同様の高単価設定にもかかわらず、宿泊している。
	◎	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は依頼が多くあった。
	◎	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・県内の製造業者は補助金の関係か工場新設や設備増設の動きが顕著である。相談や引き合いも増加傾向である。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・空き店舗だったところに新しい店がオープンしたことで、街が幾らか活気付いている。
	○	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・秋物婦人衣料の動きがあり、関連して服飾雑貨も堅調に推移している。9月の大型連休に企画した催事場の物産展も売上に貢献している。家電製品、地場産品、トラベル関連、生鮮食品も好調に推移しており、市内で使える地域共通クーポン券も売上増加に寄与している。
	○	スーパー（経営者）	販売量の動き	・前年比では売上は9％増加、来客数は7％減少である。8月から老人ホームの食材の仕事が増え、8月分の請求は28万円であった。また、車で30分のホテルへの食材納品の仕事も増え、毎日ではないものの、1回につき5万円の仕事である。9月の大型連休は毎日秋祭りや敬老会の仕事で忙しかった。仕事が増えると支払も増えるため、8月末に銀行から借入れもしている。
	○	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・天候要因かもしれないが、来客の動きが良い。
	○	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数、客単価共に前年を超えてきており、売上が伸びている。
	○	その他専門店 〔酒〕（店長）	お客様の様子	・3か月前と比べると売上は良い。雨が多かったことや9月の大型連休と物価高で、家の中で消費する形が多く見受けられたことから、3か月前より良かったのではないかと推測している。
	○	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・例年9月は秋の紅葉シーズンと夏休みの間で客の来訪が減る時期だが、今年は大型連休のお陰で売上が非常に伸びた。また、連休が長かったため遠方からの客も多かった。
	○	タクシー（経営者）	販売量の動き	・秋の観光シーズンを迎え、観光客数が増えている。
	○	通信会社（社員）	販売量の動き	・新規エリアでの獲得も要因だが、既存エリアでの掘り起こしが好調で、新規申込みが増えている。
	○	その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・今月は晴れの日が少なく、曇りや雨天の日が多かったため、ボウリング場は室内レジャーであることから、週末を中心に集客ができた。また、9月の大型連休もあったことから、かなりにぎわっている。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・2015年以来、何と11年ぶりの9月の大型連休となり大いに期待していたが、天候に恵まれず期待はずれになっている。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・雨続きで猛暑も落ち着きエアコンの動きも静かになっている。消費者は商品の値上がりにも慣れてしまったのか、買い急ぐことも買いだめの動きもない。消費への関心がみられない。

□	百貨店（店長）	お客様の様子	・物価高による買い控えの懸念はあるものの、イベント等グッズの売上動向は悪くない。購買意欲の大きな部門も見受けられ、総合的な判断としては変わらない。
□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・天候不順も影響し、来客数などの減少、値上げによる買上点数の落ち込みから、客の節約志向は強い。
□	スーパー（店長）	来客数の動き	・来店数の減少、買上点数は増加して買物頻度が低下する傾向は直近数か月よりも深まっている。
□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・商材単価上昇による買い控えが見受けられる。客単価は低下している。
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の減少が止まらず、客単価を上げる施策が必要である。
□	コンビニ（店長）	お客様の様子	・今月は比較的前半は涼しく推移したので、前年と比べれば少し落ちている。客は、気温が高く暑いと出てこないし、寒いとある程度出てくるが暑いときに売れる商材は売れない。
□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・近隣で競合店の閉店セールがあり、その影響により当店の売上、来客数が減少している。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車価格や整備料金が上がるなかでも、販売台数や入庫数は増加傾向にある。
□	スナック（経営者）	来客数の動き	・良くないまま安定してしまった感じである。物価高で財布のひもが固くなっているが少しずつ戻ってくるだろうと考えていたが、今のところ固いままである。
□	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・9月は天候が悪く、宿泊予定者のキャンセルが続出し、集計しているところだが売上が前年同月比で大幅に減少する見込みである。特に、アウトドアや登山客向けの宿については、天候理由でのキャンセル料を受け取っていないことから、予約は好調で満室の日も多かっただけに残念である。
□	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前が良かったこともあり、その状況から大きく変化はしていない。しかし、11年ぶりの9月の大型連休があったこと、周辺でのイベントも多数開催されたことで前年比では大幅に伸長している。
□	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・9月の大型連休があったものの客の動きは変わらず鈍い。物価上昇や先行きの不透明感が強いようで、自宅で休暇を過ごす人や安近短の日帰りが目立っている。
□	タクシー運転手	販売量の動き	・このところ食品の値上げに続いて電気代、ガス代等、いろいろな値上げの情報がある。景気は決して良くない。
□	通信会社（社員）	来客数の動き	・市場動向も変わらず上向いてはいないためである。
□	観光名所（職員）	来客数の動き	・観光事業は天候に左右されることが多い。今年は大雨や台風ばかりで、天候に影響を受けている。せっかくの9月の大型連休も降雨により伸びはない。
□	ゴルフ場（副支配人）	単価の動き	・平日来場者の高価格帯の食事のオーダーの減少やプレー単価の低下、土日来場者の客単価上昇が継続している。
▲	一般小売店〔文具・事務機〕（経営者）	販売量の動き	・9月は予想より天候が悪く、全国各地で水害等の災害が報告されている。来年度予算の見通しは過去最高額といわれているが、災害補助に相当流れ、一般の事務機器等の予算は少なくなりそうで心配である。
▲	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年と比べて来客数が伸び悩んでおり、いろいろな商材も値上がりしていることから、今後は売上の伸びは厳しくなる。寒くなることもあり、しばらくは悪くなる条件しかない。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・気温、気候の状況で客入りが下降気味である。今月は例年より寒さが早めにきていることから飲料などの売行きが伸びていない。
▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・今月の車検、一般整備は目標の80%となっている。車両販売は相変わらず低迷している。あらゆる物価が上昇して車両購入を抑える人が多い。
▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・夏のお盆や9月の大型連休と動きが多かったためか、平日はとても静かなことが多く、平均すると景気は余り良いとはいえない。

	▲	ゴルフ場（経営者）	競争相手の様子	・会員制ゴルフ場であるが、ここに来て稼働会員数が明らかに減っている。いよいよ高齢化による市場縮小が始まった模様である。
	×	遊園地（職員）	来客数の動き	・9月は音楽やダンスのイベントで集客を図ったものの、大型連休期間を含め天候不順が続いたため、来場者数に大きな伸びがみられなかった。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は増加している。納期がひっ迫した注文内容が増え、勢いのある取引先が増えている。
	○	電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注につながる問合せが若干多くなっている。
	□	その他製造業 〔宝石・貴金属〕（経営者）	取引先の様子	・9月の大型連休と台風の影響で小売店は集客が難しく、売上の伸び悩みから仕入意欲は減退しており、売上は前月比で減少している。ただし、前月までの受注が好調だったこともあり、それらの商品の納品により、前年比では若干伸びている。
	□	輸送業（経営者）	競争相手の様子	・前月と比べて物の動きは余り変わらない。
	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業はA I 関連は改善傾向にあるが、それ以外の分野では改善が遅れており、コスト高の影響もあって全体では横ばいである。非製造業は観光関連は天候の良かった時期の高原には順調な人出があったが、9月以降は天候に影響され伸び悩んだ模様である。物価高で消費者も節約志向が続いており、マインドも慎重姿勢が続いている。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・中東情勢や物価高騰が収まる気配がなく、家計を圧迫している状況が続いている。
	▲	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・年末に向け、見積みなどの依頼が増える時期であるのに、余り問合せがない。
	▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・店頭商品の受注量も減少している。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注金額に変化はないものの、大口工事の件数が少なくなってきた。
	×	食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・消費者は安い商品を選んでシビアに購入している。スーパーも客を呼び寄せるのに大変苦労している。そのなかで値段の高い物は場所の確保や数量をさばくのが大変である。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・月間有効求人倍率が月を追うごとに上昇している。
	□	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・毎月同じ状況が続いており、人手不足ではあるものの、就業先がなかなか決まらない人も少なくない。条件が合わず、折り合いが付かないことが多い。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・為替相場、金利の動向、長引く原材料費等の高騰のほか、中東情勢についても依然として不透明な状況にあり、企業においては引き続き収益の見通しの判断がしにくいことが予想されるものの、製造業を中心にA I や半導体関連の需要拡大などによる改善傾向がみられ、求人も増加傾向にある。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・業種により異なるが、現場の作業求人にも少し陰りが出てきたようである。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—